

令和5年度 第14回「白峰地区 白山市ミライ会議」概要

日 時：令和5年9月2日（土） 10：00～11：00

場 所：白峰地域交流センター

参加団体等：白峰老人クラブ連合会会長、白山市防犯協会理事、南消防団白峰分団分団長、白峰女性の会、白峰青年団、白山市町会連合会理事など

発言【1】

屋根雪下ろしが課題。屋根の融雪装置は、昨今の電気代・燃料代で運用コストが掛かり、財政的負担になっているので、できれば助成を検討して欲しい。

また、老人世帯では屋根雪を下すことが難しく、人を雇わなくてはならない。1回、5万円程度掛かる。この点についても検討して欲しい。

【市】

市では、屋根の融雪装置費の補助や屋根雪降ろしに関する助成、支援を行っております。

昨今の電気代・燃料代の高騰については、冬季の屋根融雪だけでなく、全市民の生活に影響を及ぼしています。今の高騰は社会情勢の影響によるものであり、国の補助により金額の高騰を抑える政策も延長されております。公平性の面から屋根融雪だけの助成支援は困難と考えております。

①屋根の融雪装置設置補助金

- ・新規設置補助 費用の1/2（限度額100万円）
- ・更新設置補助 費用の1/2（限度額20万円）

②屋根雪降ろし支援事業

- ・降雪時の高齢者、独居老人宅に対する生活支援については、ひとり暮らし高齢者等、自力での屋根雪処理が困難な世帯に対して屋根雪下ろし業者を斡旋しております。
- ・65歳以上の高齢者のみや障害者、母子世帯で、労力的かつ経済的に自力で屋根雪下ろしが困難な要援護世帯に対しては、屋根雪下ろし等に要する経費（1回6万円限度1冬期間3回）を支援する事業を行っております。（対象となる要件がありますので、長寿介護課へご相談ください）
- ・白山ろく地域では、除雪が必要な高齢者だけの世帯や障害者、母子世帯については、社会福祉協議会を通じて除雪ボランティアが自宅生活道路までの除雪を行います。

発言【2】

介護施設で働いている特定技能実習生が結婚や出産をした場合に、独身寮を出て、桑島の市営住宅に住みたいと思っても、所得制限のために入居できない状況である。他に民間のアパートがなく、外国人だけでなく、桑島地区で働く人が安心して地元に住むことができるように、市営住宅の入居に関して特例を設けるなど、検討してもらえないか。

【市】

市営住宅は公営住宅法に基づき管理運営されており、入居するためには、住宅に困窮していること、同居親族がいることや入居しようとする世帯員の所得合算額が基準額以内であることなどの条件を満たすことが必要です。

桑島住宅におきましては、長期にわたって空き住戸が多くある状態が続いている現状から、市営住宅の入居要件を満たさない方でも入居できるよう、法令の範囲内で検討を進めているところです。

発言【3】

- (1) 村時代に森林所有者と契約した今の「市行造林」は、山の中に入っても歩けない状態になっているので、手入れをして欲しい。
- (2) 白山市の山には、伐期を迎えた木がたくさんある。県から30万㎡の伐採をするように言われているが、市ではそのような計画がないので、森林経営計画をたてて欲しい。
- (3) 明谷の林道は草が生い茂り進めない状態になっている。白峰の飲料水の源につながる道でもあり、除草や整備を検討して欲しい。

【市】

- (1) 市内には複数の「市行造林」があり、順番に手入れを行なっています。白峰地域はこれからの予定となっています。
- (2) 森林経営計画については森林所有者又は森林の経営を受けた者が立てる制度のため、計画を立てていただきたいと思います。
- (3) 明谷の林道の整備については今後検討していきたいと思います。

発言【4】

市消防訓練大会をアスファルトで行う予定だと聞いた。これまではスキー場駐車場を利用して訓練してきたが、除雪の雪でアスファルトが痛んでいる。現

在使用されていない中学校のグラウンドを、訓練を行う部分だけでも、舗装してもらえないか。

【市】

白山野々市川北消防訓練大会の会場については、アスファルトでの実施可否も含めて協議中です。

旧白峰中学校のグラウンドを一部舗装することは考えておりませんので、訓練に支障がある場合は代替地等のご検討をお願いいたします。

発言【5】

ライン博士顕彰会は、平成22年の行財政改革で補助金がなくなった。昨年の40周年事業は、経費の半分を市で補助してもらったが、例年の事業では補助がない。桑島化石壁は、白山手取川ジオパークの目玉の1つ。ライン博士顕彰会は、ライン博士の出身地であるドイツ・ラウンハイム市との交流など、実のある国際交流を続けている。人的、資金的にも、市からの支援をお願いしたい。

【市】

ライン博士顕彰会へは、5周年毎に記念冊子を作成するというので、その年のライン祭事業費の1/2を補助しています。今後、顕彰会とは、会の活動内容や市からの補助内容について、文化課のみならず、国際交流室、ジオパーク・エコパーク推進課も交え、協議していきたいと思えます。

発言【6】

林道が荒れていては、現場まで車で行けない。特に、桑島地区で酷いのは赤谷地区で、林道と川の境が分からないほどで、山にも行けない状況である。関係機関に働きかけて、1日も早い復旧をお願いしたい。

【市】

市内林道は広範囲にわたり被害を受けており、順次復旧を進めているところです。未だ復旧できていないところにおきましても、できる限り早期復旧に向けて取り組む予定をしております。

発言【7】

「山岸家」の修繕について、令和3年初めの大雪により、国の重要文化財である「山岸家」の大屋根が破損し、応急措置が施されている状態である。白峰

重要伝統的建造物群保存地区の中心となる文化財であり、早急な改修をお願いしたい。

敷地内の雑草の管理や、盗難の心配もあるので、管理人を配置できないか。

【市】

旧山岸家の改修については、現在県を通じて文化庁と協議を進めているところですが、活用計画、多額な費用、専門人員の配置など課題が多く、現時点で建物改修の着手時期は見通せていない状況です。今後も文化庁と協議を進め、早急に事業着手したいと思います。

また、白峰を訪れる観光客の増加に対応するため、建物改修に先行して、敷地内の解説看板設置や無関係建築物の除却、敷地内の定期的な除草作業など、周辺環境の整備を順次進めてまいります。施設の管理については、期間を定めて白峰伝統的建造物保存会に管理を委託しております。

発言【8】

白山市全体が世界ジオパークに認定され、これから白峰にも人が多く訪れることが期待できる。今後白峰をどのようにしていけば良いのか、市長の考えを聞きたい。

【市】

世界ジオパークに認定されたことで、大学生や研究者が学習や研究の場としての活用するために本市を訪れることで、関係人口や交流人口が増えていくことを期待しております。ジオパークでは、自然だけではなく、その地で暮らす人々の営み、生活、歴史や文化が非常に大事であります。

そうした地域の歴史や伝統文化を守り続ける基盤をしっかりとつくり、そのために何をするかということを考えていくことで、世界ジオパークが未来に続いていくものと思っております。